







表紙共 6 枚

# 北熊本 (R 6) 空調機保守点検

件名		北熊本 (R 6) 空調機保守点検						縮尺	—
図名	表紙	管理科長	営繕班長	電気係長	※行-係長	施設管理	管財主任	図番	1/6
									

陸上自衛隊北熊本駐屯地 業務隊管理科 営繕班  
令和6年3月26日

# 仕様書

- 1 件名：北熊本(R6)空調機保守点検
- 2 作業場所：熊本県熊本市北区八景水谷2丁目17番1号 陸上自衛隊北熊本駐屯地  
熊本県合志市豊岡字須屋 陸上自衛隊 黒石原演習場(自動車教習所)

3 履行期間：契約締結日～令和7年3月31日まで

4 概要：下表による、設置されている箇所の空調機保守点検を実施する。

作業箇所	作業時期	
	6.5～7.5の点検	6.10～7.17の点検
№3貯舎(6号貯舎)	○	○
№55補給倉庫	○	—
№61局舎	○	—
№281通信局舎	○	—
№536貯舎(№C貯舎)	○	○
№556貯舎	○	○
№595整備場	○	—
№600局舎	○	—
№609貯舎(6号貯舎)	○	○
№611厚生センター	○	—
№650貯舎(7号貯舎)	○	○
№678広報紙	○	—
№679貯舎(A貯舎)	○	○
№689貯舎(B貯舎)	○	○
№7教場	○	黒石原演習場

- 5 一般事項
- 本役務において図面及び特記仕様書に記載されていない事項は、国土交通省大臣官房官庁営繕部監修「建築保全業務共通仕様書(最新版)」により実施するものとする。
  - 受注者は仕様書及び現地において、相違・疑義あるいは不明な点が生じた場合は、保官と協議してその指示に従うものとする。
  - 役務中における火災予防、労働安全及び在来施設等の保護には、十分注意を払うものとし、汚破損した場合は、受注者の責任において速やかに原形に復旧する。
  - 受注者は現場の不備等により空調機等が故障した場合についても受注者の負担とする。
  - 受注者は現場の整理整頓、清掃を実施する。
  - 本役務に際して本仕様書に明記なき事項については当然処置すべき事項は、受注者の負担で実施する。
  - 本役務の写真は、作業前、作業中、完了時及び保官の指示する箇所を撮影し、鮮明な写真を写真台帳に整理のうえ1部提出するものとする。
  - 本役務の点検結果報告書をシーズン・オフ毎に速やかに1部提出するものとする。
  - また、異常を発見した場合に速やかに保官に報告するとともに、報告書に明記する。
  - 本役務では原則として、駐屯地の用水、電力の使用はできない。使用する場合は保官の許可を得るものとし、後日使用料を徴収するものとする。
  - 作業完了に際し、保官等、立会いのもと各装置が正常に機能するか確認するものとする。

## 6 特記事項

- 保守点検は「点検表」に基づき実施し、作業終了後は報告書提出する。
- 保守点検により不良箇所があった場合、報告書に全般の不良箇所及び建物ごとの不良箇所の総括表を作成し提出する。
- 冷却塔は、冷房期間終了後に、清掃及び水抜きを行うこと。
- シーズンオフ点検は、冷房期間終了後、暖房開始時期までに実施することとし、また、吸収式冷凍機及びエアハンドは通常運転(暖房)ができるようにバルブ切り替えを行うこととし、細部は保官の指示による。
- 点検の結果に際し実施する保守の範囲は、次のとおりとする。
  - 汚れ、詰まり、付着物等がある部品又は点検部の清掃
  - 取付不良、作動不良、ずれ等がある場合の調整
  - バルブ、ねじ等で緩みがある場合の増し締め
  - 次に示す消耗部品等(請負者負担)の交換又は補充
    - 潤滑油、グリス、充填油等
    - ラップ類、ヒューズ等
    - パッキン類、ガスケット、オリソング類
    - 精製水
  - 接触部分、回転部分等の注油
  - 軽微な損傷がある部分の補修
  - 塗装(タッチペイント)
- その他これらに類する軽微な作業
- 点検は、原則として目視、触接又は軽打等により行う。
- 測定を行う点検は、定められた測定機器又は当該事項専用の測定機器を使用する。
- 異常を発見した場合には、同様な異常の発生が予想される箇所の点検を行う。また、別途修理が必要な場所は、見積書を提出するものとする。

## 7 その他

- 冷房期間(基準)：令和6年6月20日～令和6年9月10日
- 暖房期間(基準)：令和6年11月25日～令和7年3月15日
- 冷房及び暖房の実施期間は変更する場合がある。
- 時期の変更があった場合は、シーズン(IN・OFF)点検の細部実施日の調整を保官とするものとする。
- 吸収式冷凍機の保守点検については、メーカーに実施させるものとする。
- 吸収式冷凍機の保守点検の際は、メーカー業者であることを保官が了承した後、実施するものとする。

件名	北熊本(R6)空調機保守点検	縮尺	—
図名	仕様書①	図番	2/6
陸上自衛隊北熊本駐屯地 業務隊管理科営繕班		令和6年3月25日	

8 設置場所及び機種

場 所	点 検 機 種	メーカー・型式	冷房能力	数量	備 考
No.566庁舎	水冷式チリソングユニット	三菱電機 CR-50N	136.5kW	1台	
	冷却塔	空研工業 SKD-50FR	226.7kW	1台	
	冷水循環ポンプ	エバラ 80×55FSG		1台	
	エアハンドリソングユニット	エバラ 66×50FSG		1台	
No.536隊舎 (MAC)	冷却塔	三菱電機 CR-40N	123.2kW	1台	
	冷水循環ポンプ	空研工業 SKD-40S	181.4kW	1台	
	エアハンドリソングユニット	エバラ S14-65×50H		1台	
	二重効用吸収冷凍機	エバラ S14-65×50H		1台	
No.609隊舎 (6号)	冷却塔	空研工業 SKD021	553kW	1台	メーカー指定
	冷水循環ポンプ	エバラ SKD-161GR	1029kW	1台	
	エアハンドリソングユニット	エバラ 128×100FS-4K618		1台	
	二重効用吸収冷凍機	空研工業 100×80FS4618		1台	
No.650隊舎 (7号)	冷却塔	三菱電機 CR-12650A	218.4kW	1台	
	冷水循環ポンプ	空研工業 SKD-80FR	362.8kW	1台	
	エアハンドリソングユニット	エバラ 100×80FSH		1台	
	二重効用吸収冷凍機	空研工業 80×65FSJ		1台	
No.8隊舎 (9号)	冷却塔	三菱電機 AD3N10B	321kW	1台	メーカー指定
	冷水循環ポンプ	空研工業 SKD-90FR	591kW	1台	
	エアハンドリソングユニット	エバラ 100×80FSJ		1台	
	二重効用吸収冷凍機	空研工業 80×65FSJ		1台	
No.55倉庫	冷却塔	三菱電機 SKD021	553kW	1台	
	冷水循環ポンプ	空研工業 SKD-161GR	1029kW	1台	
	エアハンドリソングユニット	エバラ 128×100FS-4K618		1台	
	二重効用吸収冷凍機	空研工業 100×80FS4618		1台	
No.581局舎	冷却塔	三菱電機 CR-50N	136.5kW	1台	
	冷水循環ポンプ	空研工業 SKD-50FR	226.7kW	1台	
	エアハンドリソングユニット	エバラ 80×55FSG		1台	
	二重効用吸収冷凍機	空研工業 80×65FSJ		1台	
No.555整備場	冷却塔	三菱電機 CR-40N	123.2kW	1台	
	冷水循環ポンプ	空研工業 SKD-40S	181.4kW	1台	
	エアハンドリソングユニット	エバラ S14-65×50H		1台	
	二重効用吸収冷凍機	空研工業 S14-65×50H		1台	
No.61局舎	冷却塔	三菱電機 CR-40N	123.2kW	1台	
	冷水循環ポンプ	空研工業 SKD-40S	181.4kW	1台	
	エアハンドリソングユニット	エバラ S14-65×50H		1台	
	二重効用吸収冷凍機	空研工業 S14-65×50H		1台	
No.611厚生センター	冷却塔	三菱電機 CR-40N	123.2kW	1台	
	冷水循環ポンプ	空研工業 SKD-40S	181.4kW	1台	
	エアハンドリソングユニット	エバラ S14-65×50H		1台	
	二重効用吸収冷凍機	空研工業 S14-65×50H		1台	
黒石原演習場 No.7教場	冷却塔	三菱電機 CR-40N	123.2kW	1台	
	冷水循環ポンプ	空研工業 SKD-40S	181.4kW	1台	
	エアハンドリソングユニット	エバラ S14-65×50H		1台	
	二重効用吸収冷凍機	空研工業 S14-65×50H		1台	
No.679庁舎 (A庁舎)	冷却塔	三菱電機 CR-40N	123.2kW	1台	
	冷水循環ポンプ	空研工業 SKD-40S	181.4kW	1台	
	エアハンドリソングユニット	エバラ S14-65×50H		1台	
	二重効用吸収冷凍機	空研工業 S14-65×50H		1台	
No.678広報館	冷却塔	三菱電機 CR-40N	123.2kW	1台	
	冷水循環ポンプ	空研工業 SKD-40S	181.4kW	1台	
	エアハンドリソングユニット	エバラ S14-65×50H		1台	
	二重効用吸収冷凍機	空研工業 S14-65×50H		1台	
No.686庁舎 (B庁舎)	冷却塔	三菱電機 CR-40N	123.2kW	1台	
	冷水循環ポンプ	空研工業 SKD-40S	181.4kW	1台	
	エアハンドリソングユニット	エバラ S14-65×50H		1台	
	二重効用吸収冷凍機	空研工業 S14-65×50H		1台	

9 点検表

(1) チリソングユニット点検表

点検項目	点検内容	周期	備考
1 基礎・固定部	①亀裂、シタ等の有無を点検する。 ②固定部の変形、破損等の有無を点検する。 ③防錆、スチール等の劣化及び錆みの有無を点検する。	IN-OFF	
2 外観の状況	a 本体 b 保冷材 c 内部の状況	IN-OFF	
3 電気系統	a 温度計及び圧力計 b 電圧計 c クラウンブレーキヒーター	IN-OFF	
4 安全弁	a 安全弁 b 安全弁	IN-OFF	
5 電気系統	a 操作回路及び動力回路 b 端子 c クラウンブレーキヒーター	IN-OFF	
6 保安装置	a 圧力開閉器 b 吐出ガス温度サーモ c 断水リレー d インターロック e 冷水循環ポンプ停止サーモ f 接地	IN	
7 潤滑油系統	a 潤滑油系統 b 断水リレー	IN-OFF	
8 排水系統	a 排水系統 b 断水リレー	IN-OFF	
9 断水リレー	a 断水リレー b 断水リレー	IN-OFF	
10 断水リレー	a 断水リレー b 断水リレー	IN-OFF	
11 断水リレー	a 断水リレー b 断水リレー	IN-OFF	
12 断水リレー	a 断水リレー b 断水リレー	OFF	

件名	北熊本(R6)空調機保守点検	縮尺	1
図名	仕様書②	図番	3/6
陸上自衛隊北熊本駐屯地 業務隊管理科宮崎班 令和6年3月25日			

(2) 吸収冷凍機点検表

点検項目	点検内容	周期	備考
1 基礎・固定部	①亀裂、沈下等の有無を点検する。 ②固定器具の劣化及び固定ボルトの緩みの有無を点検する。	IN	
2 外観の状況	腐食、変形、破損等の有無を点検する。 ③防振材、ストッパー等の劣化及び緩みの有無を点検する。	IN	
3 保固材及び保固材付属品	損傷及び取替の有無を点検する。	IN	
4 温度計及び圧力計	①正常値を指示していることを確認する。 ②取付け部等の漏れの有無を点検する。 ③汚れ及び損傷の有無を点検する。 ④管内圧力が規定値内であることを確認する。	IN	
5 電気系統	絶縁抵抗を測定し、その良否を確認する。 ⑤配管の付着、緩み及び変形の有無を確認する。 ⑥配管の損傷等の有無を点検する。 ⑦配管の緩み及び変形の有無を確認する。 ⑧配管の汚れ、異物の付着、緩み及び変形の有無を確認する。 ⑨配管の損傷等の有無を点検する。	IN	
6 保安装置	①電圧降下の機能を点検する。 ②室内の汚れ、異物の付着、緩み及び変形の有無を確認する。 ③断絶及び緩みの有無を確認する。 ④接地抵抗を測定し、その良否を確認する。	IN	
7 エアコン	①動作音、異常振動等の有無を点検する。 ②変形、腐食等の有無を点検する。 ③配管の損傷等の有無を点検する。 ④配管の緩み及び変形の有無を確認する。 ⑤配管の汚れ、異物の付着、緩み及び変形の有無を確認する。 ⑥配管の損傷等の有無を点検する。	IN	
8 冷凍機及び冷却水系統	①動作音、異常振動等の有無を点検する。 ②変形、腐食等の有無を点検する。 ③配管の損傷等の有無を点検する。 ④配管の緩み及び変形の有無を確認する。 ⑤配管の汚れ、異物の付着、緩み及び変形の有無を確認する。 ⑥配管の損傷等の有無を点検する。	IN	
9 運転調整	異常のないことを確認する。 ①運転時における主電源電圧の変動が、規定値内であることを確認する。 ②運転電流が規定値内であることを確認する。 ③電動機の回転方向が正しいことを確認する。 ④蒸気調整弁が設定温度で段階的に動作することを確認する。 ⑤供給蒸気の1次圧力が規定の許容範囲内であることを確認する。 ⑥非通電時に、蒸気制御弁にリークのないことを確認する。 ⑦冷水及び冷却水の入口温度及び出口温度、保持温度、保持温度、凝縮温度、蒸発温度等を測定し、その値が許容範囲内であることを確認する。 ⑧不凝縮ガスの混入及び冷却管の汚れの有無を点検する。	IN	
10 真空気密	①起動時に漏れ及び異常音がなく、抽気能力に異常のないことを確認する。 ②バルブの漏れの良否及び油面の濃度を点検する。 ③抽気弁を手動で全開にし、真空計の変化から開通していることを確認する。 ④真空ポンプで機内に不凝縮ガスのないことを確認する。 ⑤パワジリアセル部の乾燥及び劣化度を点検する。 ⑥真空ポンプを用いて機内を所定の圧力まで抽気する。 ⑦抽伸した溶液を適量採取し、腐食防止剤濃度及びアルカリ度が規定の許容範囲内であることを確認する。 ⑧溶液に汚れのないことを確認する。 ⑨水室の汚れ及び腐食の有無を点検する。	IN	
11 熱交換機		IN	
12 熱交換機		IN	

(3) パッケージ型空調機点検表

点検項目	点検内容	周期	備考
1 基礎・固定部	①亀裂、沈下等の有無を点検する。 ②固定金具の劣化及び固定ボルトの緩みを点検する。 ③防振材、ストッパー等の劣化及び緩みの有無を点検する。	IN	
2 外観の状況	腐食、変形、破損等の有無を点検する。 ④(補助)電機ヒーター、加湿器の電源遮断を同時に自動制御機器の切替え、動作確認を確実に行う。	IN	
3 冷房切替え		IN	
4 水系統	①給水止弁の開閉を点検する。 ②汚れ及び緩みの有無を点検する。 ③汚れ、さび、腐食等の有無を点検する。 ④本体のドレン排水確認を行い、支障のないことを確認する。	IN	
5 電気系統	絶縁抵抗を測定し、その良否を確認する。 ⑤配管の付着、緩み及び変形の有無を確認する。 ⑥配管の損傷等の有無を点検する。 ⑦配管の緩み及び変形の有無を確認する。 ⑧配管の汚れ、異物の付着、緩み及び変形の有無を確認する。 ⑨配管の損傷等の有無を点検する。	IN	
6 送風機	①動作音、異常振動等の有無を点検する。 ②変形、腐食等の有無を点検する。 ③配管の損傷等の有無を点検する。 ④配管の緩み及び変形の有無を確認する。 ⑤配管の汚れ、異物の付着、緩み及び変形の有無を確認する。 ⑥配管の損傷等の有無を点検する。	IN	
7 エアコン	①動作音、異常振動等の有無を点検する。 ②変形、腐食等の有無を点検する。 ③配管の損傷等の有無を点検する。 ④配管の緩み及び変形の有無を確認する。 ⑤配管の汚れ、異物の付着、緩み及び変形の有無を確認する。 ⑥配管の損傷等の有無を点検する。	IN	
8 冷凍機	①動作音、異常振動等の有無を点検する。 ②変形、腐食等の有無を点検する。 ③配管の損傷等の有無を点検する。 ④配管の緩み及び変形の有無を確認する。 ⑤配管の汚れ、異物の付着、緩み及び変形の有無を確認する。 ⑥配管の損傷等の有無を点検する。	IN	
9 熱交換機		IN	
10 加湿器		IN	
11 保安装置	①動作音、異常振動等の有無を点検する。 ②変形、腐食等の有無を点検する。 ③配管の損傷等の有無を点検する。 ④配管の緩み及び変形の有無を確認する。 ⑤配管の汚れ、異物の付着、緩み及び変形の有無を確認する。 ⑥配管の損傷等の有無を点検する。	IN	
12 運転調整	異常のないことを確認する。 ①運転時における主電源電圧の変動が、規定値内であることを確認する。 ②運転電流が規定値内であることを確認する。 ③電動機の回転方向が正しいことを確認する。 ④蒸気調整弁が設定温度で段階的に動作することを確認する。 ⑤供給蒸気の1次圧力が規定の許容範囲内であることを確認する。 ⑥非通電時に、蒸気制御弁にリークのないことを確認する。 ⑦冷水及び冷却水の入口温度及び出口温度、保持温度、保持温度、凝縮温度、蒸発温度等を測定し、その値が許容範囲内であることを確認する。 ⑧不凝縮ガスの混入及び冷却管の汚れの有無を点検する。	IN	
13 真空気密	①起動時に漏れ及び異常音がなく、抽気能力に異常のないことを確認する。 ②バルブの漏れの良否及び油面の濃度を点検する。 ③抽気弁を手動で全開にし、真空計の変化から開通していることを確認する。 ④真空ポンプで機内に不凝縮ガスのないことを確認する。 ⑤パワジリアセル部の乾燥及び劣化度を点検する。 ⑥真空ポンプを用いて機内を所定の圧力まで抽気する。 ⑦抽伸した溶液を適量採取し、腐食防止剤濃度及びアルカリ度が規定の許容範囲内であることを確認する。 ⑧溶液に汚れのないことを確認する。 ⑨水室の汚れ及び腐食の有無を点検する。	IN	
14 熱交換機		IN	
15 熱交換機		IN	

件名	北熊本(R6)空調機保守点検	縮尺	—
図名	仕様書⑨	図番	4/6
随上自衛隊北熊本駐屯地 業務隊管理科宮澤班			
令和6年9月26日			

(4) 冷却塔点検表

点検項目	点検内容	周期	備考
1 基礎・固定部	①亀裂、沈下等の有無を点検する。 ②基礎ボルトの緩み及び劣化の有無を点検する。 ③防振装置の有無を点検する。 ④防振ストッパーの緩み及び劣化の有無を点検する。	IN IN IN IN	
2 外観の状況	①損傷、変形及び汚れの有無を点検する。 ②排水管の目詰まり及びびりれの有無を点検する。 ③散水水の目詰まりの有無を点検する。 ④散水管の回転が円滑であることを確認する。 ⑤散水管の目詰まりの有無を点検する。 ⑥散水管の付着の有無を点検する。 ⑦スチール等の付着の有無を点検する。 ⑧目詰まりの有無を点検する。 ⑨塵屑、変形等の有無を点検する。 ⑩塵屑、変形、腐食等の有無を点検する。 ⑪固定金具の劣化及びびりれの有無を点検する。	IN IN IN IN IN IN IN IN IN IN IN	
3 水槽	①内外面の損傷、変形及びびりれの有無を点検する。 ②水漏れの有無を点検する。 ③水位が規定の位置にあることを確認する。 ④ボルトナット等が確実に作動することを確認する。 ⑤目詰まり、損傷等の有無を点検する。 ⑥フレキシブルジョイント 接続部の緩み、腐食等の有無を点検する。	IN IN IN IN IN IN	
4 送風機	①羽根車 ①損傷、腐食、汚れ等の有無を点検する。 ②回転に支障のないことを確認する。 ③軸が円滑に回転することを確認する。 ④油量の適否を点検する。 ⑤円滑に回転することを確認する。 ⑥絶縁抵抗値を測定し、その良否を確認する。 ⑦塵屑及び腐蝕の有無を点検する。 ⑧損傷、腐食等の劣化の有無を点検する。	IN IN IN IN IN IN IN IN	
5 散水ポンプ	①本体 ①損傷、腐食等の有無を点検する。 ②絶縁抵抗を測定し、その良否を確認する。 ③回転方向が正しいことを確認する。 ④電流が定格値内であることを確認する。 ⑤サーモスタットが設定値で作動することを確認する。 ⑥ヒーターの作動電流が定格電流以下であることを確認する。 ⑦電圧電圧の回転方向が正しいことを確認する。 ⑧異常音及び異常振動のないことを確認する。 ⑨運転電流が定格値以下であることを確認する。 ⑩散水が均一に分散していることを確認する。 ⑪水槽の水位が運転前及び運転状態が適正であることを確認する。	IN IN IN IN IN IN IN IN IN IN IN	
6 凍結防止装置	①電圧、電流、温度等の有無を点検する。 ②絶縁抵抗を測定し、その良否を確認する。 ③回転方向が正しいことを確認する。 ④電流が定格値内であることを確認する。 ⑤サーモスタットが設定値で作動することを確認する。 ⑥ヒーターの作動電流が定格電流以下であることを確認する。 ⑦電圧電圧の回転方向が正しいことを確認する。 ⑧異常音及び異常振動のないことを確認する。 ⑨運転電流が定格値以下であることを確認する。 ⑩散水が均一に分散していることを確認する。 ⑪水槽の水位が運転前及び運転状態が適正であることを確認する。	IN IN IN IN IN IN IN IN IN IN IN	
7 運転調整	①電圧、電流、温度等の有無を点検する。 ②絶縁抵抗を測定し、その良否を確認する。 ③回転方向が正しいことを確認する。 ④電流が定格値内であることを確認する。 ⑤サーモスタットが設定値で作動することを確認する。 ⑥ヒーターの作動電流が定格電流以下であることを確認する。 ⑦電圧電圧の回転方向が正しいことを確認する。 ⑧異常音及び異常振動のないことを確認する。 ⑨運転電流が定格値以下であることを確認する。 ⑩散水が均一に分散していることを確認する。 ⑪水槽の水位が運転前及び運転状態が適正であることを確認する。	IN IN IN IN IN IN IN IN IN IN IN	

(5) 水蓄熱ユニット

点検項目	点検内容	周期	備考
1 基礎・固定部	①亀裂、沈下等の有無を確認する。 ②固定金具の劣化及びボルトの緩みを点検する。 ③防振材、ストッパー等の劣化及び緩みの有無を点検する。 ④水漏れ及び内面のさび、腐食、損傷等の有無を点検する。	IN IN IN IN	
2 タンク	①内外面の損傷、変形及びびりれの有無を点検する。 ②水漏れの有無を点検する。 ③水位が規定の位置にあることを確認する。 ④ボルトナット等が確実に作動することを確認する。 ⑤目詰まり、損傷等の有無を点検する。 ⑥フレキシブルジョイント 接続部の緩み、腐食等の有無を点検する。	IN IN IN IN IN IN	
3 水生成装置	①本体 ①損傷、腐食等の有無を点検する。 ②絶縁抵抗を測定し、その良否を確認する。 ③回転方向が正しいことを確認する。 ④電流が定格値内であることを確認する。 ⑤サーモスタットが設定値で作動することを確認する。 ⑥ヒーターの作動電流が定格電流以下であることを確認する。 ⑦電圧電圧の回転方向が正しいことを確認する。 ⑧異常音及び異常振動のないことを確認する。 ⑨運転電流が定格値以下であることを確認する。 ⑩散水が均一に分散していることを確認する。 ⑪水槽の水位が運転前及び運転状態が適正であることを確認する。	IN IN IN IN IN IN IN IN IN IN IN	

(6) フランコイルユニット点検表

点検項目	点検内容	周期	備考
1 外観	①腐食、変形、破損等の有無を点検する。 ②固定金具、固定ボルトの緩み、変形、腐食等の有無を点検する。 ③防振装置の有無を点検する。 ④防振ストッパーの緩み及び劣化の有無を点検する。	IN IN IN IN	
2 送風機	①羽根車 ①損傷、腐食、汚れ等の有無を点検する。 ②回転に支障のないことを確認する。 ③軸が円滑に回転することを確認する。 ④油量の適否を点検する。 ⑤円滑に回転することを確認する。 ⑥絶縁抵抗値を測定し、その良否を確認する。 ⑦塵屑及び腐蝕の有無を点検する。 ⑧損傷、腐食等の劣化の有無を点検する。	IN IN IN IN IN IN IN IN	
3 熱交換機	①管束 ①管束の腐食、変形等の有無を点検する。 ②管束の目詰まりの有無を点検する。 ③管束の回転が円滑であることを確認する。 ④管束の目詰まりの有無を点検する。 ⑤管束の付着の有無を点検する。 ⑥スチール等の付着の有無を点検する。 ⑦目詰まりの有無を点検する。 ⑧塵屑、変形等の有無を点検する。 ⑨管束、変形、腐食等の有無を点検する。 ⑩固定金具の劣化及びびりれの有無を点検する。	IN IN IN IN IN IN IN IN IN IN	
4 排水系統	①排水ポンプ ①内外面の損傷、変形及びびりれの有無を点検する。 ②水漏れの有無を点検する。 ③水位が規定の位置にあることを確認する。 ④ボルトナット等が確実に作動することを確認する。 ⑤目詰まり、損傷等の有無を点検する。 ⑥フレキシブルジョイント 接続部の緩み、腐食等の有無を点検する。	IN IN IN IN IN IN	
5 エアファン	①本体 ①損傷、腐食等の有無を点検する。 ②絶縁抵抗を測定し、その良否を確認する。 ③回転方向が正しいことを確認する。 ④電流が定格値内であることを確認する。 ⑤サーモスタットが設定値で作動することを確認する。 ⑥ヒーターの作動電流が定格電流以下であることを確認する。 ⑦電圧電圧の回転方向が正しいことを確認する。 ⑧異常音及び異常振動のないことを確認する。 ⑨運転電流が定格値以下であることを確認する。 ⑩散水が均一に分散していることを確認する。 ⑪水槽の水位が運転前及び運転状態が適正であることを確認する。	IN IN IN IN IN IN IN IN IN IN IN	
6 電気部品	①電気配線 ①配線の腐食、変形等の有無を点検する。 ②接続端子 ③接続端子の緩み、変形、腐食等の有無を点検する。 ④操作スイッチ・運転表示灯 ⑤操作スイッチ・運転表示灯の動作確認を行う。	IN IN IN IN	
7 弁類	①弁類 ①弁類の動作確認を行う。 ②エア抜き弁及び排水ポンプの動作確認を行う。	IN IN	

(7) ポンプ点検表

点検項目	点検内容	周期	備考
1 基礎・固定部	①亀裂、沈下等の有無を確認する。 ②固定金具の劣化及びボルトの緩み、変形、腐食等の有無を点検する。 ③防振材、ストッパー等の劣化及び緩みの有無を点検する。 ④水漏れ及び内面のさび、腐食、損傷等の有無を点検する。	IN IN IN IN	
2 外観の状況	①損傷、変形、破損等の有無を点検する。 ②固定金具、固定ボルトの緩み、変形、腐食等の有無を点検する。 ③防振装置の有無を点検する。 ④防振ストッパーの緩み及び劣化の有無を点検する。	IN IN IN IN	
3 送動機	①羽根車 ①損傷、腐食、汚れ等の有無を点検する。 ②回転に支障のないことを確認する。 ③軸が円滑に回転することを確認する。 ④油量の適否を点検する。 ⑤円滑に回転することを確認する。 ⑥絶縁抵抗値を測定し、その良否を確認する。 ⑦塵屑及び腐蝕の有無を点検する。 ⑧損傷、腐食等の劣化の有無を点検する。	IN IN IN IN IN IN IN IN	
4 制御装置	①本体 ①損傷、腐食等の有無を点検する。 ②絶縁抵抗を測定し、その良否を確認する。 ③回転方向が正しいことを確認する。 ④電流が定格値内であることを確認する。 ⑤サーモスタットが設定値で作動することを確認する。 ⑥ヒーターの作動電流が定格電流以下であることを確認する。 ⑦電圧電圧の回転方向が正しいことを確認する。 ⑧異常音及び異常振動のないことを確認する。 ⑨運転電流が定格値以下であることを確認する。 ⑩散水が均一に分散していることを確認する。 ⑪水槽の水位が運転前及び運転状態が適正であることを確認する。	IN IN IN IN IN IN IN IN IN IN IN	
5 圧力計、運転計又は真空計	①圧力計、運転計又は真空計 ①圧力計、運転計又は真空計の動作確認を行う。 ②エア抜き弁及び排水ポンプの動作確認を行う。	IN IN	
6 フォトリレー	①フォトリレー ①フォトリレーの動作確認を行う。 ②エア抜き弁及び排水ポンプの動作確認を行う。	IN IN	
7 運転調整	①電圧、電流、温度等の有無を点検する。 ②絶縁抵抗を測定し、その良否を確認する。 ③回転方向が正しいことを確認する。 ④電流が定格値内であることを確認する。 ⑤サーモスタットが設定値で作動することを確認する。 ⑥ヒーターの作動電流が定格電流以下であることを確認する。 ⑦電圧電圧の回転方向が正しいことを確認する。 ⑧異常音及び異常振動のないことを確認する。 ⑨運転電流が定格値以下であることを確認する。 ⑩散水が均一に分散していることを確認する。 ⑪水槽の水位が運転前及び運転状態が適正であることを確認する。	IN IN IN IN IN IN IN IN IN IN IN	

